

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 4 月 14 日

事務事業名		県河川協会参画事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	040109000359
		総合計画の施策名				単独/補助	単独	所属課	060101
		O401 防災・消防対策の充実				主要事業	対象外	建設課	
政策体系		政策名	O4 快適で潤いのある生活環境づくり			市長マニフェスト	対象外		
		施策名	O1 防災・消防対策の充実			未来PJ事業	対象外	グループ	維持管理G
		基本事業名	O9 その他の事務事業			合併建設計画事業	対象外		
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (年度~)		
	01	08	01	01	02	00	土木総務事業		
法令根拠						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【事務事業の内容】</p> <p>治水事業、利水事業、河川環境整備事業及び災害復旧事業の促進を図り、あわせて水防体制を強化し、公共の安全と福祉の増進に寄与することを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・治水、利水、河川環境整備及び災害復旧の事業に関する調査、視察及び関係当局への建議等大会及び研修会並びに水防演習等の開催及び参加</li> <li>・その他必要な事業</li> </ul>	<p>【担当者が行う業務の手順】</p> <p>関係組織による研修会及び要望活動 水防月間、河川愛護月間の啓蒙活動</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
関係組織による研修会及び要望活動		総会への参加	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		負担金額	千円	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
市町村・各種団体等		中小河川部会	団体	44.00	44.00	44.00	44.00	44.00
		水防部会	団体	27.00	27.00	27.00	27.00	27.00
		防災部会	団体	44.00	44.00	44.00	44.00	44.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
河川の有効な活用を実施し、住民の生活安全と関係地域の発展を図る				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定 総投入量
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	4	4	4	0	0	
	事業費計(A)	千円	4	4	4	0	0			
	人件費	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	0.00人		
述べ業務時間		時間	18.00	23.00	20.00	20.00	0.00			
人件費計(B)		千円	52	67	58	58	0			
トータルコスト(A)+(B)			千円	56	71	62	58	0		

事業費の内訳	28年度事業費 実績(千円)				29年度事業費 予算(千円)			
	19 負担金補助及び交付金	4			19 負担金補助及び交付金	4		
		合計	4			合計	4	

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	県河川協会参画事業	事務事業No.	40109000359	所属課	建設課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
河川改修の要望書提出を期に参画

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
1級河川の早期改修、堆積土砂の浚渫等の要望が寄せられている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 要望活動をとおり河川改修の促進を図ることに結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 整備促進に係る費用負担であるため妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 河川の整備状況の実態を切実に訴えていく要望活動が必要であるが、財政状況により現時点では向上の余地がない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 整備等の遅滞になる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 協議会・同盟会組織の目的事業が類似しているがそれぞれの組織構成が違う。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 定額負担により運営されている組織であり削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 協議会・同盟会の参画であり受益者負担にはなじまない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 桜川改修整備に対して未計画区間の事業推進について要望が上がっている。桜川改修期成同盟会と連携し国・県に対し更なる要望活動を進める。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	--